

令和7年度県債発行方針

1 基本的な考え方

国内では、金融政策の正常化が進められる中、10年国債が平成20年以来16年ぶりの水準まで上昇するなど、全年限で金利が上昇を続けている。

一方海外では、欧米が利下げに転じたほか、長引くウクライナ戦争や米中の対立などの地政学的リスクが高まっていることに加え、各国の政治情勢も不安定となり、不確実性が増している。

国内経済は、33年ぶりの高い水準での賃上げが実現する一方で、賃金上昇を上回る物価高にも直面している。政府は、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」の実現を目指しており、これまでにない水準での賃金や物価の上昇に伴う、金利の更なる上昇も見込まれる。金利変動に伴う投資家の運用ニーズの変化についても、十分注意する必要がある。内外の不安定な政治情勢等を鑑みると、将来を見通しにくい状況にあり、環境変化に柔軟に対応した起債運営が必要となる。

こうしたことを踏まえて、令和7年度においては、①県債の安定的な消化、②資金調達の弾力化、③競争性の確保、④市場の変化への対応、⑤県債への信頼性の向上の5つの基本方針に基づき、県債を発行する。

2 取組の方向性

基本方針	具 体 的 な 取 組 内 容
県債の安定的な消化	○銀行等引受債の定期発行及び発行額の平準化 ○銀行等引受債シンジケート団による責任引受機能の継続 ○銀行等引受債において、地元金融機関による安定的な資金調達体制の継続 ○戦略的 IR 活動により新規投資家確保を促進するとともに、テーマ債の活用等により、県債引受基盤を強化・拡大
資金調達の弾力化	○投資家需要を踏まえた発行年限・償還方式の弾力化 ○グリーンボンドの発行を継続・拡大し、SDGs の取組を推進する本県施策の普及・PR や投資家基盤の拡充を促進 ○県民債等の発行による県民の投資機会の確保
競争性の確保	○提案募集・入札による銀行等引受債の発行
市場の変化への対応	○フレックス枠の活用による市場環境や投資家ニーズの変化を捉えた機動的な調達の実施 ○市場環境の変化に備えた市場公募債の前倒し発行
県債への信頼性の向上	○公募債について、引き続き全年限主幹事方式を採用し、投資家との丁寧な対話による資金調達の実施 ○投資家に訴求する I R 資料を活用した効果的な I R 活動の継続